学校番号	1006

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史　（山川出版）						
副教材等	写真資料館　日本史のアーカイブ　（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では大学受験に必要な知識の習得と、問題を解く練習を行います。
・二年次の日本史Ａに比べて非常に高度な内容を扱うため、家庭での毎日の予習と復習が不可欠となります。
・履修にあたっては二年次までの学習への取り組みや成績を振り返り、授業担当者によく相談した上で履修すること。

２　学習の到達目標

・現代の諸課題を日本の歴史に立脚した観点から考察する。
・日本の歴史を文献や芸術品などの諸資料に基づいて考察し、日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力し、国際社会に生き、国家・社会を形成する主体としての責務を果たそうとする。	現代の世界の諸課題を日本史に関する歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の歴史についての事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト 単元テスト 授業ノート	確認テスト 単元テスト 授業ノート	確認テスト 単元テスト 授業ノート	確認テスト 単元テスト 授業ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古代・中世	・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族政治と国風文化 ・中世社会の成立 ・武家社会の成長	○	○	○	○	a: 日本の古代・中世の社会に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 b: 地域に残る遺跡から原始社会について考察するとともに、その成立過程や特徴を適切に表現している。 c:社会の成立に関する諸資料を収集し、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取っている。寺社や仏像をみてその社会や文化の特徴を読み取ることができる。 d:日本と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けている。自治がしだいに成長してくることを理解し、その知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト 授業ノート
2学期	近世・近代	・幕藩体制の成立 ・幕藩体制の展開 ・近代国家の成立 ・二つの世界大戦とアジア		○		○	b: 江戸幕府や明治政府のシステムの特徴について考察し、適切に表現している。 d: 植民地支配の特徴と植民地からの抵抗について理解し、その知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト 授業ノート
3学期	現代	・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本		○		○	b: 現代日本のかかえる様々な課題について、多面的・多角的に考察し適切に表現している。 d: 戦後は基本的人権の尊重・国民主権・平和主義を基本政策に出発したことを理解し、その知識を身に付けている。戦後世界の動向と日本との関わりについて理解し、その知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト 授業ノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。